

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

6月号



Yamaga City Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420(代) FAX 0968-44-0071(連携室直通)

着任のご挨拶

薄暑の候、平素より格別のご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

4月に済生会病院より出向着任いたしました。恩賜財団済生会は全国に404施設、職員数6.4万人の国内最大の社会福祉法人で1911年明治天皇の「恵まれない人々のために施薬救療事業を起こすように」というお言葉から、御下賜金とともに全国からの寄付を集めて創設されました。済生会中央病院の初代医務主管には熊本出身の北里柴三郎先生が任ざられています。熊本県の済生会は熊本市南区にある済生会熊本病院と済生会熊本福祉センター、宇城市三角町にある済生会みすみ病院になりますが、私は急性期医療を主体とする熊本病院で12年、回復期を主体とするみすみ病院で15年の経験を経て、この度、山鹿市民医療センターにてお世話になることになりました。

近年の医療をとりまく環境は大変厳しく、全国844の公立病院の24年度決算によると、経常収支は3,952億円の赤字。赤字病院数の割合は83.3%で、赤字幅、割合ともに過去最大となっております。また大学病院も7割が赤字の状況にあります。

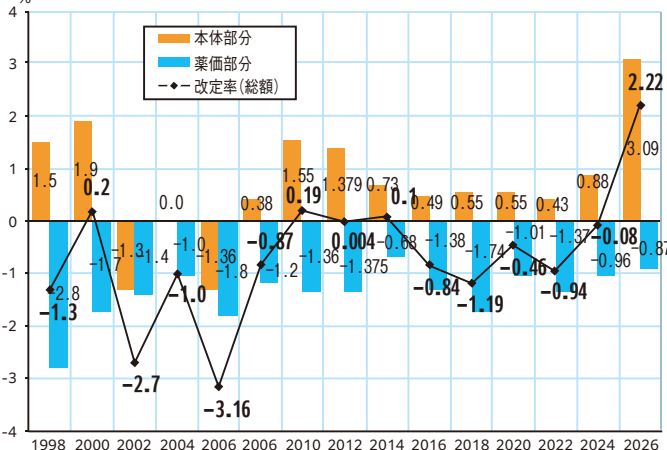
こうなった背景には当然人口減少もあるわけですが、

医療は公定価格であり、2年に1回の診療報酬改定というタイミングで国が価格(点数)を決める仕組みです。ですから例えばイラン情勢で原油価格が上がると小売するガソリンスタンドなどは即座に販売価格を上げることで仕入価格の上昇分を販売価格に転嫁することができますが、われわれ医療界にはそれができません。今年6月の診療報酬改定でようやく少しは期待できるレベルのプラス改定にはなりますが、これまでは大変厳しい状況でした。

ご存じの通り、皆様が病院でお世話になった時、会計時に原則消費税はかかりません。ですが我々が患者さんに医療サービスを提供するために仕入れる材料や整備する医療機器を購入する際はもれなく消費税を仕払って購入しています。つまり消費税がなかった時代から現在の10%に至るまで消費税増税分はその大半が病院の持ち出しになっています。(消費税がかかる材料費や経費の合計が仮に10億円だった場合、消費税分の病院持ち出しは1億円ということです)。人口減少も進み病院の近隣では毎年550人づつ減っています。人々の終末期の考え方も時代とともに変化しており、昔は病院で最後を迎える方が大半でしたが、現在は在宅や施設を選択される方がむしろ増えてきました。全国の地方中小病院で現在起こっている現象は今述べた通りで、これらが赤字の大きな要因であることも事実です。山鹿市民医療センターの経営が現在大変厳しいことは新聞等でご承知の方も多いと存じますが、公立病院としての使命を保ちながらも民間病院並みのスピードでドラステックに経営の改革改善を遂行することが私の責務となります。病院スタッフはもちろんのこと、行政の皆様、議会の皆様、地域の皆様と積極的にコミュニケーションをとりながら、現状に見合った適正な病床規模で健全な病院運営ができるよう努めて参りたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

(事務部事務次長 甲斐 通博)

診療報酬の改定率の推移



出典:社会実績データ図録ホームページ [https://honkawa2.sakura.ne.jp/1933.html]掲載データより(著:本川裕氏)

放射線科吉田技師学位取得!

2026年3月、熊本大学大学院保健学教育部博士後期課程を修了し、博士(保健学)の学位を取得いたしました。

博士課程は「医学・保健学全般にわたる幅広い視野と専門性に立脚した教育・研究能力を兼ね備え、研究チームやチーム医療のリーダーとしての役割を担える人材」すなわち「医療現場における高度医療専門職業



人」および「高等教育機関における教育・研究者」の養成を目的に設置されており、3年間で最低12単位取得と博士論文の提出が求められます。

大学院ではCTを専門とする研究室に所属し、「Low tube voltage and deep-learning reconstruction for reducing radiation and contrast medium doses in thin-slice abdominal CT: a prospective clinical trial」のタイトルで博士論文をまとめました。

在学中には、北米放射線学会(RSNA)での発表や、European Radiologyへの論文採択など、貴重な経験を積むことができました。また、県立劇場で執り行われた修了式においては、首席に授与される学長賞の盾と賞状を賜り、身に余る光栄に存じます。ご支援いただきました皆様に心より感謝申し上げます。今後も研究活動を継続し、博士としての責任と自覚を持ち、臨床と研究の両面で一層精進してまいります。

大学院や国際学会に興味を持つ医療者が増えてくれることを願っています。

(診療放射線技師 Ph.D. 吉田 健一郎)

心不全再入院予防継続管理料について

6月の改定で、心不全治療による再入院予防を推進する観点から、心不全再入院予防継続管理料が新設されました。当センターでは心不全再入院予防チームを立ち上げ、心不全再入院予防継続管理料1(入院中)及び管理料2(外来)を算定します。

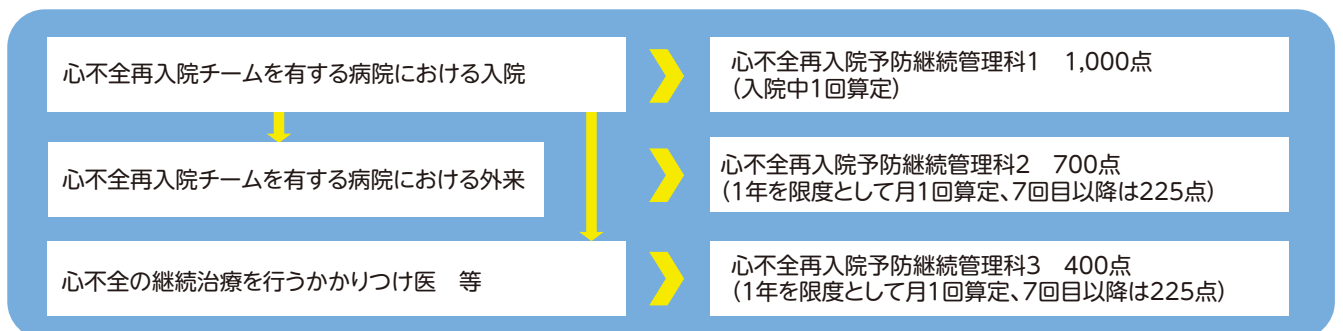
- ・退院までに各部門の専任者と相談し、退院後の内服薬の理解や管理(飲み忘れないような工夫など)、どのようなリハビリが予防としてより効果的か、どのような食事内容が望ましいか(誰が作るの~何を購入するのか)、など対策を講じ、再入院の回避に繋がります。
- ・退院後も一年間のみ外来で、保険診療における予防管理を受けることができます。

退院後にかかりつけの医療機関において予防管理された場合、管理料3(400点)が算定可能となります。管理料3の主な施設基準を抜粋します。

- ①特定の医師及び看護師又は保健師がいること
 - ②管理栄養士との連携により栄養食事指導を行うことが可能な体制を整備すること
 - ③管理料1又は2を届出ている医療機関が主催する特定の研修会に参加すること
- ②の管理栄養士との連携については、当センターでご協力させていただきますのでご連絡ください。

また、③の研修会を令和8年7月27日(月)19時から開催いたしますので、たくさんのご参加をお待ちしています。

(副院長兼循環器内科長 大庭 圭介)



尿路結石治療用レーザー導入について

地域の先生方には、日頃より温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、当センターでは碎石用レーザー装置を導入し尿路結石に対する内視鏡手術(TUL)への対応を開始いたしました。これまで当センターでは対応が難しかった結石治療を完結できる体制を整え、地域のニーズに寄り添った診療を目指してまいります。

結石治療を検討する際、患者さんからよく受ける質問にESWLとの比較があります。

| | 体外衝撃波 (ESWL) | レーザー治療 (TUL) |
|--------|----------------------------------|-------------------------|
| 治療方法 | 体外から衝撃波を当てる | 内視鏡で結石を直接砕く |
| 身体への負担 | 少ない (麻酔なし・日帰り可) | 要麻酔・数日の入院が必要 |
| 碎石の確実性 | 石の硬さや位置に左右される 複数回の治療を要することがある | 非常に高い (ある程度の大きな石も可能) |



結石治療において「どの治療が正解か」は、医学的な状態だけでなく患者さんの生活背景によっても異なります。「仕事があるから短期間で確実に治したい」という方もいれば「まずは体への負担が少ない方法を試したい」という方もいらっしゃいます。当センターでは「Shared Decision Making (共同意思決定)」を重視しています。医師が一方向的に治療を決めるのではなく、レーザー治療のメリット・デメリットをESWLや保存的治療と比較しながら提示し、患者さんがスケジュールや価値観に合わせて納得して選べるようサポートいたします。



結石の痛みで苦しむ患者さんや経過観察中の結石が大きくなられた患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひご相談ください。また結石疑いの段階や治療のタイミングに迷うような症例でもお気軽にご相談くだされば幸いです。

(泌尿器科長 中村 圭輔)

第64回公開特別講演会のご案内

(日本医師会生涯教育講座 1単位)

取得カリキュラムコード 番号・コード名
77. 骨粗鬆症

下記により第64回公開特別講演会を開催いたします。
多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

鹿本医師会会長 幸村 克典
山鹿市病院事業管理者 別府 透
記

日時：令和8年6月12日(金) 19:00～

形式：ハイブリッド方式(オンライン参加or会場参加)

会場：オンライン参加 / Zoomミーティング
会場参加 / 山鹿市民医療センター1階医療研修センター

演題：「日本および熊本県における高齢者の脆弱性骨折の現状とその対策への挑戦」

演者：熊本大学大学院 生命科学研究部
整形外科学講座 宮本 健史 教授

司会：山鹿市民医療センター 山鹿市病院事業管理者 別府 透 先生

参加費：無料

【参加要領】 下記参加URL、又は参加QRコードから
ご参加ください。

(参加URL) : <https://zoom.us/j/93258430539>
(参加QRコード) ⇒

ミーティング ID : 932 5843 0539

パスコード : 979661



※ミーティングに参加される際の【名前】欄には、必ず「氏名」と「医療機関名」をご入力ください。

※快適にご視聴いただくため、イヤホンやヘッドセットのご使用をお勧めいたします

お問合わせ先 📍 山鹿市民医療センター
地域医療連携室 西田・今坂
TEL:0968-44-2185 FAX:0968-44-0071

※共催：鹿本医師会

山鹿市民医療センター医療研修センター運営委員会

外来担当医表

6月

◎診療受付時間は、8:30(予約再診の方は8:00)~11:00

| 診療科名 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|----------------------|------------------------------|--|--|--|-------------------------|
| 呼吸器内科 | ※後藤由比古 | — | ※後藤 英介 | — | ※後藤 英介 |
| 腫瘍内科 | — | — | — | — | ※宮本 英明 |
| 消化器内科 | 梶原 雅人 | 竹熊 梨祐 | 本原 利彦 | 梶原 雅人 竹熊 梨祐 | 本原 利彦 |
| 内分泌・代謝内科 | 西田 周平 | — | 西田 周平 | — | 西田 周平 |
| 循環器内科 | 大庭 圭介 清水 博 | 大庭 圭介 清水 博 | ※中山 智子 清水 博 | 清水 博 大庭 圭介 | 大庭 圭介 清水 博 |
| 整形外科 (紹介外来制) | 横田 秀峰 樽美 備一 松下 祥大 | 工藤 智志 樽美 備一 松下祥大/坂上諒明 | 手術 (担当医) | 工藤 智志 横田 秀峰 坂上 諒明 | 手術 (担当医) |
| 外科 | 別府 透 石河 隆敏 織田 枝里 | 手術 (担当医) | 別府 透(新患のみ) 石河隆敏 / 増田稔郎 遊佐俊彦 / 織田枝里 | 手術 (担当医) | 別府 透 増田 稔郎 遊佐 俊彦 |
| 乳腺外科(予約制) | — | ※富口 麻衣 | — | — | — |
| 泌尿器科 | 中村 圭輔 | 手術(担当医) | 今藤 淳之助 | ※神波 大己 教授 | 中村 圭輔 |
| 小児科 | 小澄 将士 | 小澄 将士 | 小澄 将士 (午後:予防接種) | 小澄 将士(午前) ★※石井真美(午後) | 小澄 将士 |
| *小児科の午後診療は、16:00受付終了 | | | | | |
| 耳鼻咽喉科(予約制) | — | 非常勤医師 | — | 非常勤医師 | — |
| 眼科(予約制) | 手術 | 特殊再来のみ | 古島 京佳 | 古島 京佳 | 古島 京佳(午前) ★非常勤医師(午後) |
| 産婦人科 | 非常勤医師(午後) (受付14:00~16:00) | ※片淵美和子(午後) (受付13:00~16:00) 婦人科・思春期・更年期 | — | 非常勤医師(午前) ★非常勤医師(午後) (受付14:00~16:00) | 非常勤医師 (午前) |
| 緩和ケア内科(予約制) | 織田 枝里 | 堀 和樹 | 織田 枝里 | 堀 和樹 | — |
| 総合診療科(予約制) | 吉岡 明子 | — | 吉岡 明子 | — | 吉岡 明子 |
| 救急外来 | 泌尿器科医(午前) 吉岡 明子(午後) | 吉岡 明子 | 大庭 圭介(午前) 清水 博(午後) | 奇数週:担当医 偶数週:吉岡明子 | 外科医(午前) 消化器内科医(午後) |
| 健診 | 高木 茂 | 高木 茂 | 高木 茂 | 高木 茂 | 高木 茂 |

※非常勤医師です。★第2、第4のみ診療となります。

◎当日の受診に関する相談を除くお電話は、平日14時から17時までが受付となります。

特殊・専門外来【予約制】

6月

◎特殊・専門外来の診療時間等詳細については、各診療科にお尋ねください。

| 名称 | 担当医等 | 実施日 | 診察場所 |
|-------------|---|-------------------------|-------|
| 外来化学療法 | 担当医 | 毎週 火曜・水曜 | 各診療科 |
| | ※宮本 英明 | 毎週 金曜 (がん薬物療法専門医) | |
| 小児科予防接種 | 小澄 将士 | 毎週 水曜 (受付時間13:30~16:00) | Aブロック |
| ストーマ外来 | 担当医 | 毎月 第3水曜 (午後) | Bブロック |
| PEG外来 | 担当医 | 毎月 第2水曜 (午後) | |
| セカンドオピニオン外来 | 各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。 | | |

◎急患の場合は、この限りではありません。

ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります

◆4月から担当医師や非常勤医師の勤務体制が変更となっております。

◆最新の担当医表は、ホームページをご覧ください。



山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地

TEL 0968-44-2185(代)

FAX 0968-44-2420(代)

FAX 0968-44-0071(連携室直通)

http://yamaga-medical-center.jp